



第54号  
発行 筑紫丘高校同窓会  
福岡市南区野間2-13-1 〒815-0041  
電話092(561)0662  
FAX 092(561)0663  
ホームページ http://www.chikushigakka-dousokai.jp/  
印刷 西日本新聞印刷



同窓会HP  
「QRコード」

# 同窓会(おかげさう)

## 華やかに発足記念イベント

野に秋桜(コスモス)揺れる10月5日(土)、本部の肝いりで今年度発足の運びとなりました。筑紫丘高校女子同窓会「丘女会」の記念イベントが、母校の視聴覚教室で賑々しく開催されました。

女子入学一期生の山本睦子会長(高4)を頂点として、司令塔である松浦ひとみ副会長(高30)の采配のもとに、異学年のOG有志が結束し、114人もの同窓生を迎えて、丘女らしい心温まる事業を実施できました。

面白好きの丘女のバラエティーに富んだ企画、賢い丘女の周到な準備、そして持ち場キッチリ、使命感に燃える



山本睦子会長(高4)のあいさつ

仕事ぶりは「流石」の一言に尽き、筑高女子の面目躍如たるものがありました。

イベント成功の要因は、本校卒業生であるということにありました。畑伴子さん(高31)の筑紫丘陵上部スピリットに裏打ちされたハンサム

ウーマン人生とその成功秘話や、ジャズシンガーいらいさん本名江珠子さん(高38)と、渡辺栄子さん(高8)の華麗な歌声を乗せて岩崎大輔さん(定30)が繰り広げる円熟のピアノ演奏に、聴衆の知性と感性が満たされ、会場は同窓の喜びに溢れる空間となりました。

その後、焙煎技術の世界大会で優勝された後藤直紀さん(高46)にいられたいただいた薫り高い珈琲を味わいながら、親交を深めました。それにし

## 「筑紫丘高校の思い出と上海ビジネス事情」



講演する畑伴子さん(高31)

「筑紫丘高校の思い出と上海ビジネス事情」講演する畑伴子さん(高31)

イベント後の懇談会



でも私が目を見張ったのは、交流会場において出演者の皆さんに対し、若い女性たちのシャープな質問が盛んに飛び交う光景でした。論旨を組み立てて発言することは難しいものです。何の躊躇もなく次々に手が挙がる丘女の姿に、私はあらためて筑紫丘の威力に恐れ入った次第です。

とにもかくにも「丘女会」は前途洋々たる船出をいたしました。みなさま応援をよろしくお願いいたします。

白水七子(高24)

## 皆さんの積極的な参加を

### 年頭あいさつ



年頭に当たりごあいさつ申し上げます。母校の発展とともに同窓会においても活動は着実に広がり前進しています。今年も「会員の友誼を深め母校の発展に寄与すること」、この会則目的にそって、より多くの方が集い、親しまれる同窓会運営に努めて参ります。

昨年、福岡市で開催された県医師会のシンポジウムで「元気で長生きの秘訣」の一つとして「同窓会に行くこと」のアドバイスがありました。

同窓会は「元気をもらい元気を与える」仲間の集まりであり、皆様の積極的な参加を待ちしています。また、在校生に対しては目標となる元氣な先輩の姿、元氣な同窓会の姿を見せたいものです。

次に、ここ一兩年の新たな活動を振り返り感ずるところを述べたいと存じます。一つは女性の親睦の会の発足です。昨年10月に発会イベントが母校で開催されました。女性の会ならではの楽しい和やかな集まりでした。

### 会長 門司 稔

また、首都圏においては学生部会主催による「若手大同総会」が大勢の参加者を集めにぎやかに開催されています。こうした動きは、会員各層に参加の和を広げるものとして会の発展に期待しております。母校支援に関しては、一昨年、教育支援基金を創設いた

しました。多くの皆様の支援のおかげで基金は一定規模に達し、所期の目的の通り、在校生の支援に充てました。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

当面する課題としては、老朽化した母校校舎の全面改装に向けての促進活動です。母校PTA、丘上会、同窓会等から成るオール筑紫丘によるプロジェクト「筑紫丘高校校舎全面改築促進期成会」を組成し、活動を始めました。今年も役員・常任幹事、支部役員・幹事一同、同窓会並びに母校の発展のため頑張つてまいりますので、何とぞご支援ご協力をお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。

平成25年度の総会において小島洋実行委員長(高36)から襷を受け継ぎ、開催が近づくと日々身の引き締まる思いでございます。平成26年度の定期総会は、6月7日(土)、福岡市の「ホテルニューオータニ博多」にて、皆様の絶大なるお力添えを賜り、同窓の皆様をお迎えできる運びとなりました。開

## 定期総会に向けて

テーマは「同朋 H A R A K A R A」  
平成26年度総会実行委員長 岩淵 稔(高37)

開始時刻は午後6時の予定です。今年のテーマは「同朋 H A R A K A R A」です。母校の誇るべき長い歴史は大変幅広い世代の同窓を輩出してき

ました。総会にお集まりの皆様は年代こそ違え同じ場所であらゆる青春を謳歌した「同朋」です。サブテーマの「∞つながる↓つなぐ↑つなげる∞」の下に「ハラカラの輪」が大きく大きく広がるよう、37回生一同、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願致します。

## 心身ともにタフな人材の育成

### 年頭あいさつ



明けましておめでとうございます。本校教育に対するご理解とご支援・ご協力に対しましてお礼申し上げます。

さて教育の世界にも「不易」と流行があります。「不易」の価値と云えば、豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自律しつつ他人と協調する心などが該当すると思

います。では、これからの社会の「流行」は何でしょうか。21世紀 人類には20世紀繁栄の遺産処理が課せられ、経済のグローバル化が進展し、加えてわが国では人類未経験の超少子高齢化社会に突入し

### 上原 洋祐 校長

ます。このような社会では、主体的にしかも積極的に生き抜くタフさ、意欲、問題解決能力、コミュニケーション能力を併せ持つ人材が求められています。

## 竹若前副会長逝去



平成25年11月28日、竹若幸二前副会長(高10)が逝去されました。享年74。竹若前会長は、永年県教育

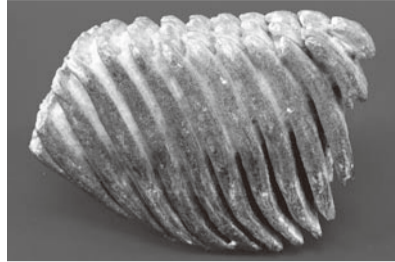
委員会にて教育行政に携わってこられました。母校下の筑紫丘トンネル工事や講堂の建設にも、行政の立場から積極的にご指導をいただきました。退職後の同窓会との係わりは、平成18・19年度監査、同20・23年度副会長と、会の運営にあたられました。副会長時代は、組織委員長として特に支部問題の取りまとめに尽力されました。記念

こうした資質能力は授業を聞いて学力を高めるだけで身に付くでしょうか。それらは技能や意識が異なる部員が一つの目標に向けて集う部活動でもまれ、運動会などの大きな集団の中で優勝という共通の目標達成のため悪戦苦闘する体験を通して身に付くものだと思います。思いが違いますが、

竹若前副会長を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。(事務局)

### 記念館収蔵品紹介④

#### 吉村圭介元教諭と ナウマン象臼歯の化石



ナウマン象臼歯の化石

吉村圭介先生は、昭和18年3月31日から同50年3月31日まで32年間、筑紫中学校・筑紫丘高校に勤務された。教科は生物。「カンパチ」のあだ名で親しまれた。

このナウマン象臼歯の化石は、昭和26(1951)年10月に那珂川に架かる警弥郷橋下流で小石を採集中の西田惣太郎氏により発見され、「福岡市出土の旧象の臼歯化石について」と題して松尾信一・吉村圭介両氏によって昭和28年2月、九州大学農学部学芸雑誌第14巻第1号に報告された。

されたものである。なお、この化石は現在、福岡市博物館に貸し出して、同館の「常設展示室」で展示中である。この4、5月は記念館で里帰り展示の予定だが、その後は再び福岡市博物館で展示される。

#### 会計帳簿類

ナウマン象化石は、福岡市周辺での発見例がなく貴重な資料である。この化石は、長らく吉村圭介元教諭が、先生の逝去後にご遺族が引き続き保管されてきたが、平成25年6月14日、ご遺族から筑紫丘高校に寄贈

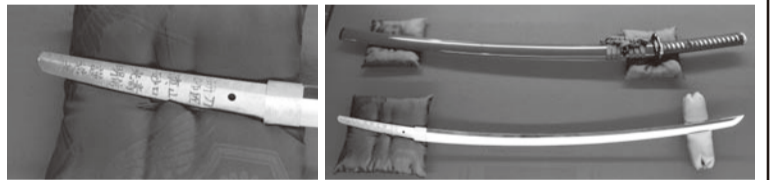
されたものである。昭和元(1926)年の学校創立準備の年から、福岡県がコンピューターを導入する直前の昭和52年度までの支出簿などがそろっている。



そろった会計帳簿など

#### 筑紫丘高校守護刀

刀匠山口寿信(高22)・研師真砂光治(高校26)両氏が母校の発展を祈って制作。平成4年3月19日に寄贈されたもの。74・8センチの太刀である。「袴・筑紫丘高校発展」と刻む。



寄贈を受けた剣刀

#### 教育支援基金受付名簿

(平成25年4月1日、平成25年10月31日、掲載は受付順)

おかげさまで、これまでに基金から60万円を支援金として支出し、現在352万2488円を基金として積み立てています。今後ともご支援をよろしく願います。▽森永武彦(高7)▽高49回有志一同▽土師政敏(定10)▽市吉康政(高11)▽江濱義博(高33)▽剣持登志子(高

36)▽綾部純子(高36)▽筑高三八会(高15)▽三島寿永美(中5)▽有志一同(高18)▽松本精一郎(高14)▽米寿・古稀祝扇子受領者(中12・高14・定15)▽榎本秀伸(高17)▽渡邊博志(高34)▽高橋ヨシエ(高7)▽足立敦子(高15)▽勝野雅弘(高22)▽富田紘(高12)▽第22回筑中・筑高ゴルフコンペ及び表彰式参加者▽門司稔(高13)▽丘仁志会(高24)▽高36・37回生有志(事務局)

## 転校生を取り巻く忘れ得ないあの友この友

### 岩崎正武さん(中18)

私は戦後、筑中に転校してきた。東京都世田谷区内に住み学齢に達して成城中学校(旧制)に入学。昭和20年4月名古屋陸軍幼年学校に入るが、終戦で復員をした。

父は陸軍士官学校を出て戦車隊長をして南方に転戦中。母は空襲が激しくなった東京を離れて実家のある福岡市高宮に疎開した。終戦で父は捕虜になり抑留されたが、21年6月に解かれて帰国し、母の

実家が種苗の販売をしており両親ともに就職した。私は20年9月初め筑中の転入試験にパスし、2年7カ月後に18回生として卒業した。

筑中に入って終生忘れ得ないのが「東宝満西春振」の校歌と、「聴け玄海の波洗う」の応援歌で、今でも折にふれてよく口遊さむ。郷愁を誘う歌だ。

お世話になった先生には、旧制福高2回生の相羽尚先生をはじめ、八尋松次郎先生や古屋明先生、吉村圭介先生、内田正男先生、的野勝先生です。すでにみんな物故されており、ご冥福をお祈りいたします。

また、同期の道祖会関係では、世話人の長田健氏、会合の写真撮影する大塚惟公氏

同窓会報づくりに余念のない大谷希幸氏に感謝しています。さらに田圃の中の一木道をともに登下校した大西雄三氏、古岡稔氏、三坂一氏、安川孝氏、いまは故人となった内野一彦氏、永岡茂治氏、馬場利貞氏、古屋秀雄氏、山内重太郎氏を懐かしんでいます。

電車通学になってからは、山田太郎氏や故人の伊佐山勝海氏、牛草宏氏、金藤義次氏、日下部桂造氏、清水栄一氏、辰元喜治氏らと親しくしていました。

また九大医学部内での医局對抗野球試合では、筑中で同期生だったが、四年修了(四修)で福高に入ったため一年上、旧制最後の学生となった林田健氏と一緒に出場した楽

しい思い出が残っています。岩崎さんは昭和23年筑中から旧制福高に進学、理科乙類を1年修了し翌24年新制九大へ。28年医学部薬学科を卒業した。大学院で薬品分析化学を専攻して第一薬科大学への就職が決まった。

法人の理事になり、副学部長なども経て平成10年に退職したが、学園の関連大学に移り学部長、管理部長、副学長をし、19年にすべての職から身を引く。

なお、この間の平成17年には日本分析化学会から薬学的手法を用いる臨床化学分析の開発と学会への貢献で、学会功労賞を贈られた。

また、亀井光福岡県知事(当時)から昭和48年に労働省技練に延べ10年間協力したと感謝状を。さらに麻生渡知事(当

時)からは37年間の私立学校教育の功労者として平成10年に表彰された。

### 平成25年度総会盛大に開催

平成25年度定期総会は、36回生の周到な準備とおもてなしの下に、昨年6月1日、ホテルニューオータニ博多で開催され、千人余の同窓生が集まりました。

出席された三谷(藤)勝彌氏(中12)から、事務局にお礼状が届きました。戦中・戦後の激動の時代を乗り越えてこられた感慨が込められていましたので紹介します。

同窓会総会の事前の計画準備から事後の処理まで大変ご心労になったこと存じます。

私は88歳で米寿の記念品まで頂き、本当にありがたうございました。250人余も卒業した同級生は6人の出席と寂しさも感じましたが、なつかしさいっぱいでした。何から何まで本当にありがたうございました。

小学校6年で日支事変が起こり、続いて中学で大東亜戦争に拡大、動員。第一師範学校では工場(久留米ブリヂストン)動員。そのまま予備士官学校へ。昭和20年6月21日、熊本で空襲(福岡は19日)、終戦のことも知らず演習続行中敗戦したことを知りました。

岡山県から貨物列車で復員し、9月30日に師範学校を卒業。10月1日に小学校に赴任しました。軍国主義から民主主義に激変し、苦勞しました。すでに平均寿命は超えました。少しでも皆さまのためにと健康維持に努めます。

秋恒例の筑中・筑高同窓会ゴルフコンペは昨年に引き続き筑紫丘ゴルフクラブで133人(36組)の参加のもと、盛大に開催されました。台風26号の接近で、開催に多少の不安がありました。景品を提供していただいた方々にも感謝申し上げます。

### 第22回のゴルフコンペ優勝は須堯さん(高11)

秋恒例の筑中・筑高同窓会ゴルフコンペは昨年に引き続き筑紫丘ゴルフクラブで133人(36組)の参加のもと、盛大に開催されました。台風26号の接近で、開催に多少の不安がありました。景品を提供していただいた方々にも感謝申し上げます。

表彰式も昨年同様、会場を移し、午後6時からホテルニューオータニ博多宴会場で70人が参加して開かれました。門司会長のあいさつ、そして乾杯の後、表彰式に移りました。

敬称略) 優勝須堯(高11)▽準優勝川下睦彦(高13)▽3位黒川徹郎(高21)▽ベストグロス篠塚武久(高16) また、このゴルフコンペによる教育支援基金は13万7千円でした。中山利明(高26)



門司会長から優勝カップを授ける須堯さん(右)

部活動報告

平成25年度はインターハイ(全国高校総体)が北部九州開催だったこともあり、出場しなかった部活動も、会場運営の手伝いをするなど、県の部活動全体がとて盛り返った年になりました。本校でも、多くの部活動が日ごろの成果を発揮し、県大会に進みました。中でも陸上部は北部九州大会で6位入賞を果たし、インターハイに出場しました。水泳部、山岳部も前年に引き続き九州大会に出場するなど活躍しています。また、水泳部は新人戦においても、九州大会に出場し、入賞しています。



力走する渡辺壮流君(左から3人目)

陸上部だけでなく、ほかの部活も目標としている大会があると思いますが、その大会に出るだけでなく、そこで勝つことを目標として練習して頑張ってください。

陸上競技部

3年8組 渡辺 壮流

インターハイ

八百メートル出場

インターハイ予選

(北部九州大会)

八百メートル6位

大分で行われたインターハイに出場しました。自分は高校に入った時に全国大会に出ることができるとは思ってもいませんでした。ここまで頑張れたのはいろいろな人のおかげです。ありがとうございます。今年是自己ベストの記録が出ず、けがもしてあまり調子が上がりませんでした。それでもインターハイに行けたのは、自分が全国に行くこと信じて、言い聞かせ続けたからだだと思います。全国に行けたことはとてもうれしかったです。インターハイで結果を残せなかったのは、どこかで満足してしまっただけです。

水泳部

2年3組 松尾 虹歩

インターハイ予選九州大会

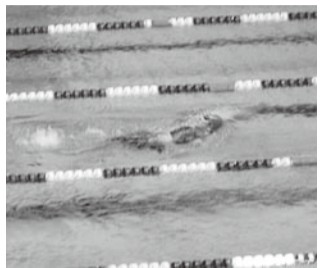
百メートルバタフライ出場

全九州高校新人水泳大会

五十メートル背泳ぎ8位

私は7月に行われた高体連九州大会に出場しました。とても緊張しましたが、チームメイトや先生方の応援もあり自分の中の精いっぱいを出しきることができました。来年こそはインターハイに出場したいです。

また、9月に行われた新人戦では私を含めた18人が九州大会に出場し、ベストを尽くすことができました。これからもチームメイトと切磋琢磨しながら水泳に取り組みでいきたいです。



力泳する松尾虹歩さん

▽高校生科学技術コンテスト 将来の科学技術振興を担う人材を発掘しようと、福岡県

教委が6月に「高校生科学技術コンテスト」を実施しました。これは、思考力や応用力を問われる共通問題と、科目別の記述式テストで行われる難しいコンテストですが、本校でも理科3年生の生徒が生物科目で最優秀賞、物理科目で優秀賞を受賞しました。

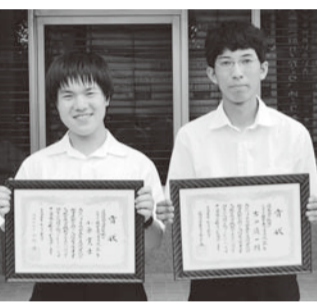
【生物】最優秀賞 3年11組 小原 寛士

福岡県教育委員会が主催する科学技術コンテストで最優秀賞を頂きました。昨年は優秀賞だったので、今年受賞できて、とてもうれしかったです。

生物学は、理系の中では選択している人は少ないですが、日々進歩し続けており、医療分野など私たちの生活にも密接に関わってくる奥の深い学問だと思っています。

受賞に至るまでに、ご指導くださった先生方、理数科や生物部の皆さんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後とも筑紫丘高理数科の素晴らしい伝統に恥じぬよう努力を続けていきたいと思っています。

高校3年間で、他にも生徒会や行事の運営など様々なことを経験させていただきました。



県教委主催の高校生科学技術コンクールで、最優秀賞を獲得した小原君(左)と優秀賞の吉田君

た。自分が興味のあることに全力で打ち込み、それを支え合える仲間がいる筑紫丘高校は非常に恵まれた環境でした。僕は筑高生で本当に良かったです。

【物理】優秀賞 3年11組 吉田 優一朗

1、2年の時は数学を受験しましたが、今年は先生からの強い誘いもあり、物理を受験しました。物理は限られた法則から物体の運動等をすべて明らかにする学問です。1年の頃はこれが理解でき

ませんでした。2、3年と知識を深めていく中で、物理と数学との関連性や、その論理性の厳密さがよく分かるようになり、魅了されていきました。高校3年間で自分がどれだけ成長したのかを確かめたく、その集大成をぶつけるつもりで科学技術コンテストに挑みました。

2年前と3年前に、僕と同じ部活の先輩方が物理で最優秀賞という成績を収められていたので、「自分も続けたい」と意気込んでいたのですが、2位という結果に終わり、残念でなりません。後輩たちに希望を託し、来年こそは筑紫丘に最優秀校のトロフィーを持ち帰ってくださることを期待しています。

▽特別活動「囲碁・将棋」 昨年11月9日に全九州高等学校囲碁選手権熊本大会が行われ、男子団体で準優勝し、3月21日に大阪で行われる全国大会出場が決定しました。

2年 山下 誠(5段) 野副峻史(3段)

野副峻史(3段)

1年 空田 聡(3段) 部室で一生懸命練習した成果を存分に発揮し、囲碁として始めて以来の全国大会出場を成し遂げることができました。これは自分たちの努力だけではなく、熊本へ送り出してくれた皆さんのおかげだと思います。

全国大会に出場するに当たってたくさんの方々から祝福や激励の言葉を頂きました。その期待に応えるべく大会当日まで一生懸命練習し、本番に備えたいと思います。全国大会では各地方の強者たちが集まるとは思いますが、自分たちの力を出し切れるように頑張ります。

(2年11組 野副 峻史)



全国出場を決めた特別活動「囲碁・将棋」の生徒たち

お詫び 第53号4面の記念館収蔵紹介③の3段目5行目、松井松次郎教諭は八尋松次郎教諭の誤りでした。また同面の「同窓会花盛り」の120人が集うの筆者 横邊三香は溝邊三香、心にしみた校歌斉唱の筆者、小山正貴は小松正貴の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

野副峻史(3段)

18人にのぼり、年々盛会になっていく様を感じました。総会に続いて開催した親睦の集いでは、恒例となった席替え、昨年好評だったテーブル対抗筑高クイズ、今回初企画の運動会DVD鑑賞を通じ、笑いあり、感動ありの雰囲気の中、学年・世代を超えた交流が行われました。また、36回、37回卒生による郷土品・筑高グッズ販売(こちらもほぼ完売)を通して幹事学年(卒後30年)世代の強い団結力も印象的でした。

「筑高いくジェー」のノリのまま約70人が2次会に突入り、本当に楽しい1日を過ごしました。さて、来年関西支部は支部発足30周年を迎え、記念企画も検討中です。関西在住の皆さん、来年も楽しいひとときを過ごしましょう。堤 一弘(高32)

教育支援基金募金箱に14,000円を寄せていただきました。関西支部の皆さんありがとうございました。(事務局)



世代を超えて集まった同窓会関西支部の面々

ど、恒例の活動が紹介され、また、今後の運営方針として連携・インフラ・財務の強化が報告されました。

懇親会では、同級生の横の繋がりと世代を超えた縦の繋がりをさらに深めるとの思いを込めた「つなぐ」というテーマのもと、福岡の応援も含めた80余人の36回生がおもてなしに努めました。今年の企画である国内外で活躍する卒業生の紹介、かしわ飯やがめ煮の提供など喜んでいただけたと思います。

また筑高体操や応援団による応援歌・校歌では、世代を超えた一体感が会場を包みました。首都圏同窓生の繋がりがさらに磐石になり、首都圏同窓会のみならずの躍進・発展を期待します。



382人を集めた首都圏同窓会

★関西支部総会・懇親の集い 10月27日、ホテルグランヴィア大阪にて、第30回筑紫丘高校同窓会総会・親睦の集いが開催されました。今年には福岡・東京からの来賓・ビジターを含め96人が集いました。また、今回初参加の方も

蓄え、素晴らしい思い出となりました。飲んで、食べて、笑って還暦の節目は、楽しい一年となりました。



定期総会で還暦記念の赤いTシャツを着た高24回生

れる」若さを保ち、頭に「古い」が付かぬよう五輪開催まで元気を保つことを誓い合いました。伊丹 侃(高18)



在関東の高18回生の集い「ほの字会」

★首都圏同窓会382人参加 平成25年度の首都圏同窓会総会・懇親会は、11月9日(土)、目黒雅叙園で382人の参加を得て開催されました。

総会では母校2年生の東京研修、大学生が集うTokyo Hills、就活生向けの就活の会、10年代ごとの20's~60'sの会な

同窓会

★還暦記念の同窓会 丘仁志会(高24)は還暦を迎えた祝いに三つのイベントを行いました。5月に関西で同窓会を開催し、6月の定期総会で同窓の「うえやまとち」さんデザインのもの、真赤なそろいのTシャツを着て祝いました。

11月の済州島旅行で世界遺産を巡り、パワースポットで力を

★関東「ほの字会」開催 平成25年10月19日(土)、関東在住の第18回卒業生による「ほの字会」(会長・森永茂樹、副会長・田中薫、代表幹事・伊丹侃)が東京港区新橋で開催されました。会が把握している関東在住会員は88人、全員が現役を退く年齢にあり、関東を終の棲処とする人も少なくありません。毎年秋に開催し、東京の名跡を歩くイベントと懇親会の二本立てで、親交を深めています。

この日のイベントは新橋から旧汐留操車場跡の鉄道歴史資料館、さらに浜離宮を訪ね、懇親会は福岡から駆け付けた元東京の企業戦士4人が加わり、総勢40人の大宴会となりました。ちなみに「ほの字会」の意味は「ホ」の字を崩すと「十八」となるという言葉遊びです。団塊1期生はいつまでも「ほ

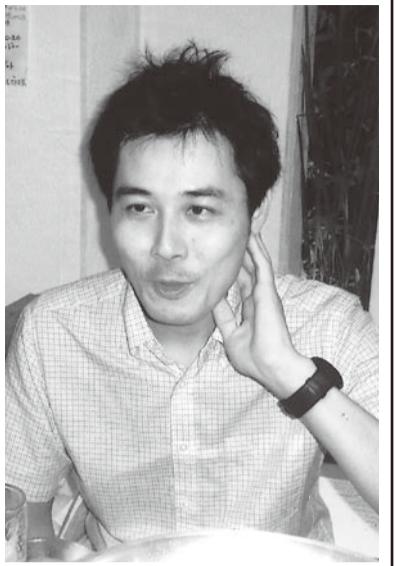
# 「珈琲」で大活躍

対談

## 小説家の岡崎さん × 焙煎士の後藤さん



「小説家なら1人でできる」と岡崎さん



「珈琲好きは多趣味な人が多い」と後藤さん

今年度、同窓会を沸かせたキーワードの一つ。それは「珈琲（コーヒー）」だろう。立役者は珈琲焙煎士として「ジャパン・コーヒー・ローディング・チャレンジ」で優勝、さらに日本代表として世界選手権である「ワールド・ロースティング・チャンピオンシップ」に出場し、見事、世界一の焙煎士の栄冠を獲得された後藤直紀さん（高46）。そして宝島社主催の「このミステリーがすごい大賞」の隠し玉に選ばれ、出版されるや否や、2作目と併せて、販売部数が百万部を突破した『珈琲店タレーランの事件簿』の作者である小説家の岡崎琢磨さん（高57）のお2人である。

若き同窓生が奇しくも同じ年に「珈琲」という同じキーワードで大活躍した。そんな大活躍ぶりを目的の

たりにしてしまつた筆者は図々しく、2人に対談を依頼した。すると「専門家であるのみならず、世界をも制された後藤さんのお相手を務まるかは心もとなひのですが、ぜひ一度お会いして、お話をさせていだきたいと思つておりました」。岡崎さんから早々のお返事をいただき、対する後藤さんからも「こちらこそ、よろしくお願いします」と拍子抜けするほどあっさりとお話が決まつた。

9月某日、春日原の料理屋で対談を行った。お2人ともお酒が飲めるといふことで、お酒を片手に思う存分放談していただいた。

◇ 岡崎さん（以下「岡崎」）いづから珈琲の焙煎をしてみようと思つたんですか。

後藤さん（以下「後藤」）もともとは、筑紫丘の同級生やその周りの仲間たちが始めた「珈琲部」という、喫茶店で珈琲を飲もうというサークル活動みたいなものがきっかけですね。毎週集まつて喫茶店で珈琲を飲む。ただそれだけの集まりです。でも、サークルが原点だと思ひます。焙煎を始めたきっかけは、お金がなくて生豆を買つてきては自分で焼いていたんです。そのうちにロースターの仕事を探したりして、いざ自分でやろうと思つて始めました（笑）。岡崎さんはどうして小説家になろうと？

岡崎 学生の頃は、同級生たちとバンドを組んで音楽に没頭していました。でも、みんな進学や就職でだんだん集まらなくなつて。「音楽はなかなか一人ではできない」と、そう思つていた時に、「小説家になら一人でもできる！」って思つたんです（笑）

後藤 珈琲というのは、本来、人生に必要なものではないんです。だから珈琲が好きなんつて言うのは結構多趣味な人が多いですよ。岡崎さん、音楽に小説に、と多趣味ですよ。小説に、と多趣味ですよ。小説読ませてもらいたいが、アドバイザりたいな方はいるんですか。

岡崎 実はいないですよ。後藤 それならものすごく勉強されてますね。岡崎 プロにそう言つていたんだけど書いてる側としては安心しますね。後藤 あれだけ本が売れるとお忙しいんじゃないですか。岡崎 おかげさまでですね（笑）とはいえずいぶん落ち着いてきました。後藤 ベストセラー作家つていうのは時間は不規則なんですか。

実家の寺で執筆 岡崎 僕自身は、実家のお寺の仕事を手伝いながら小説を書いているので、基本的には毎日お寺に行かないといけないんですよ。ですの

で、割りと規則正しい生活をしてますよ。後藤 小説家のイメージつて、ホテルに缶詰めで原稿書いてるみたいなイメージでしたけど。岡崎 全然そんな事はないです。お寺で書いたりして

でもいつかは温泉宿に投宿して作品を書くみたいなことには憧れますけどね（笑）先輩の方こそお忙しいんじゃないですか。後藤 電話がよくかかってくるようになりましたね。「お店、どこですか？」「営業時間何時までですか？」みたいな。岡崎 なかなか、仕事か手につかない感じですね。後藤 そうですね。でもありがたいことですけどね。世界一になつて思うことは、珈琲の世界は結構コネがある世界で、誰か淹れたか、誰か焼いたかという先入観が生まれ易いんですよ。だから、コンテストはブランドでやるのが基本で、これをトレースしていくことで信頼関係を築いていくんです。そういう意味では、小説家にはペンネームが存在して、誰か書いたか分からないけど、「面白い」「面白くない」で判断されるからとても公平な世界だと思ひますね。ちなみに？

岡崎 本名です（笑）人が来るんだろう」「あいさつとかできる人なんだろうか」という気持ちで来ました（笑）。正直、意外に常識人で、こうやって普通にお酒が飲めることがうれしいですね。後藤 珈琲の専門家に会うのは緊張しました（笑）。言葉の一つ一つに含意があつて、全てが小説のセリフになりそうです。大きな収穫

がありました。後藤 もし、なにかあつたらいつでも連絡してください（笑）。岡崎 ものすごく心強いアドバイザーがついてくれた気がします。今日はありがとうございました。その前に、1度お店におうかがいしますね（笑）

後藤 美味しいコーヒーを準備して、お待ちしておりますよ。



対談後、握手を交わす焙煎士の後藤直紀さん（右）と小説家の岡崎琢磨さん

まだまだ、話し足りないような様子のお2人でしたが、まったく職種の違いが、フェッションナルが共通話題で、意思疎通しあう様を見せていただき、一番感動したのは筆者かもしれません。お2人の今後のさらなる活躍を心より祈念いたします。会報委員・前川健太（高49）

◇ 私の場合、照射時間は1日1分で39回だった。むしろ照射前に体調を整えるための時間も必要だ。通院となるため併設のホテルに宿泊。治療費を含めると数百万円かかったが、日常生活に何の支障もなく終えることができた。

治療を終えて約半年。血液検査によるPSA数値は当初の「12.47」からグッと下がった「1.55」に。一概に言えないが、腫瘍の疑いがあるかどうかの目安は「4」。がん予防のキーワードは「たばこ」「食事」「心」。御自愛を。 N・M（高18）

### 宴座

前立腺がんを患つた。選択する治療法は外科手術、放射線、ホルモン療法。最終的に自身で決めなければならぬ。主治医は手術を勧めたが、成功の確率は「6割ほど」と言われ、考えは放射線に傾いた。昨年1月ことだ。どこで治療するかを決めかねていたとき、実兄から「鹿児島に先進医療があるばい」との助言があり、急ぎネットで検索すると、鹿児島県指宿市の「がん粒子線治療センター」が見つかった。セカンドオピニオンで出向くと「ここでは陽子線で行います。化学療法や放射線の代わりでなく、手術の代わりの療法です」との説明を受け、治療に踏み切った。

放射線には光子線と粒子線の2種あるそう。光子線はエックス線とガンマ線、粒子線には陽子線（水素）と炭素イオン線（重粒子）だ。私の場合、照射時間は1日1分で39回だった。むしろ照射前に体調を整えるための時間も必要だ。通院となるため併設のホテルに宿泊。治療費を含めると数百万円かかったが、日常生活に何の支障もなく終えることができた。

治療を終えて約半年。血液検査によるPSA数値は当初の「12.47」からグッと下がった「1.55」に。一概に言えないが、腫瘍の疑いがあるかどうかの目安は「4」。がん予防のキーワードは「たばこ」「食事」「心」。御自愛を。 N・M（高18）